



稚内海上保安部



〒097-0023 稚内市開運 2丁目 2番 1号

TEL FAX 0162-22-0118

E-MAIL wakkanai-kanri@kaiho.mlit.go.jp

ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>

楽器を奏でる海上保安官！ ~ 海上保安庁音楽隊の紹介

映画やドラマ「海猿」で海上保安官(潜水士)の活躍が話題となったところですが、この他にも海上保安庁には演奏活動を業務のひとつとする「海上保安庁音楽隊」という組織があります。

10月28日には、稚内総合文化センターにおいて北海道では初となる同音楽隊単独の演奏会(風の町てっぺんコンサート)が開催されるほか、今年で14回目となる定期演奏会(11月23日東京)の公募も開始されました。



演奏活動を通し救命胴衣の着用をPRする隊員

現在の海上保安庁音楽隊は、昭和63年の海上保安庁創設40周年を機に、国民の皆様へ海上保安庁のことをより一層知っていただくことを目的に結成されました。

発足以来、吹奏楽の第一人者である稲垣征夫氏に技術指導・指揮をお願いし、式典や海上保安業務に関係した諸行事で演奏活動を行っています。

隊員は隊長以下33名の海上保安官で構成され、海上保安業務と演奏活動を兼務しており、音楽隊に所属する前は、海でのレスキュー活動や大量密航事件の捜査など現場第一線で活躍していた者達で、音楽の専門家ではありません。このため数年の任期の後は再び現場業務に就くことになります。

そんな音楽隊の持ち味は、厳しくも使命感あふれる環境で培われた海上保安官魂に裏打ちされた、アットホームな演奏です。

これまでの主な活動は、平成元年の昭和天皇「大喪の礼」や平成2年の「即位の礼祝賀御列の儀」における奏楽、平成10年からの東京・日比谷のオフィス街日比谷シティでの演奏(ビルの谷間のコンサート)、平成6年から行われている定期演奏会などです。

海上保安庁音楽隊のしるし



このマークは海上保安庁音楽隊員であることを示す徽章(きしょう)で、通常、演奏服左胸部の職員章の下に着用しています。デザインは、白鳥の両翼中央にコンパスマークを配した竖琴をあしらったもので、平成10年3月に制定されました。

ホームページでチェック! <http://www.kaiho.mlit.go.jp/syoukai/soshiki/soumu/band/index.html>

有資格者を対象とした職員採用試験を実施

海上保安庁では、海技免状、無線通信士、事業用操縦士、航空整備士等の資格を有した職員を募集しています。試験に合格し採用になると、海上保安学校門司分校(北九州市)において約6月間の研修を受け、各地の海上保安の巡視船艇、事務所、航空基地等に配属されます。受験案内や受験申込書の送付等、この試験に関するお問合せは稚内海上保安部管理課まで。

【受付期間】10月12日(金)~10月26日(金) 【試験区分と採用予定人数】航海:約10名、機関:約10名、通信・技術:若干名、飛行:約5名、整備:約5名 【試験日】第1次試験11月18日(日)、第2次試験11月19日(月) 【合格発表】12月20日(木) 【道内の試験地】函館、小樽、釧路 【採用】平成20年7月1日又は平成20年10月1日(合格時に決定)

海上保安庁採用情報ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/saiyou/index.html>

海上保安学校門司分校ホームページ

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/school/moji/>

